

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

福祉部地域福祉課

福祉部長 新村 隆

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
15-001	地域福祉推進事業	なし	C	ふくし井戸端会議については、新型コロナウイルス感染予防の観点から、主に少人数で開催されるサロン等へ出向いてコロナ禍における活動状況等について聞き取り等を行った。にじいろサポーター養成講座についても、従来の講座形式による開催に代えて講義動画を作成し、市ホームページへ掲載するとともに地域サロン等の運営スタッフへ周知した。また、関係機関との協議調整やパブリックコメントを行い、第2次半田市地域福祉計画を令和3年3月に完成させることができた。	改善 推進	第2次半田市地域福祉計画に基づき、関係機関と連携・協力して、地域の福祉活動基盤の運営継続・発展支援や、複雑・多様な課題等を抱える方の相談支援充実、福祉活動従事者の確保・育成などに取り組んでいく。
15-005	福祉センター管理運営事業	なし	C	新型コロナウイルス感染症の影響により4月から5月中旬まで閉館となり、利用者数は大きく減少したが、利用者に対する感染予防の周知・啓蒙を進めながら、感染予防と施設の利用促進の両立を目指して地域福祉の増進に取り組んだ。また、老朽化した教養娯楽室(和室)の壁面を補修し、利用者が心地よく利用できる環境整備に取り組んだ。	改善 推進	新型コロナウイルス感染対策等を適切に行い、利用者が安心安全に利用できる施設運営に取り組む。さらに、施設・設備の老朽化を考慮し、定期点検だけでなく日常点検を着実にを行い、不具合箇所等があれば適時適切に対応する。
15-006	亀崎地域総合福祉センター運営事業	なし	C	新型コロナウイルス感染症の影響により4月から5月中旬まで閉館となり、利用者数は大きく減少したが、感染予防の周知・啓蒙を進めながら施設の利用促進を図り、地域福祉の増進に取り組んだ。また、外構フェンス及びコンクリート土間の修繕を行い、利用者が安心安全に利用できる環境整備に取り組んだ。なお、令和2年度に利用者数のカウントを自動ドアのセンサー感知方式から実利用者計上方式に改めた。	改善 推進	地域住民の交流・活動拠点として、施設のさらなる利用促進に取り組む必要がある。また、新型コロナウイルス感染対策等を適切に行い、利用者が安心安全に利用できる施設運営に取り組む。なお、本施設は、改築後29年経過しており、施設の老朽化が進んでいるため、設備等の維持管理に取り組むとともに、将来的な施設のあり方を検討する必要がある。
15-013	地域生活支援事業	あり	C	障がい者自立支援協議会において、ヘルパーの人材不足により居宅介護・移動支援のニーズに対応できていない現状について意見交換した。障がいがある方の居場所として、市内に初の地域活動支援センターを設置したが、利用実績が伸び悩んでいる。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、障がい者相談支援センターの相談件数や福祉サービスの利用量が減少することになったが、国県からの指示のもと、福祉サービス利用者に対して必要なサービスが提供されるように努めた。	改善 推進	障がい者自立支援協議会に諮りながら策定した第3期半田市障がい者保健福祉計画に基づき、現行の福祉サービスの対象・給付内容などの継続的な見直しを行い、事業の充実を図る。ヘルパー人材不足について、障がい者自立支援協議会で出た意見や他市の状況を参考にして支援方法を検討していく。また、地域活動支援センターの利用促進や、障がいがある方に対する福祉サービスの情報発信と、地域住民に対する障がい理解啓発活動を積極的に行っていく。

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
課等長	1次評価(2年度の総括評価)					
C	地域福祉施策については、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ふくし井戸端会議を積極的に開催することができなかつたり、半田市福祉センターや亀崎地域総合福祉センターの一時閉館、施設の一部利用制限、各種イベントの開催中止等を行ったため、参加者数や施設利用者数について目標値を下回る結果となった。施策の展開と感染予防の両立は容易ではないが、出来ることを着実にを行い、引き続き地域福祉の増進に努める。なお、第2次半田市地域福祉計画が令和3年3月に完成したので、今後は当計画に基づき、関係機関との連携・協力を深めながら、各種福祉施策を実施していく。 障がい者福祉施策については、ヘルパー人材不足解消のため、障がい者自立支援協議会で意見交換をした。ここで出た意見や他市の状況を参考に支援方法について検討していく。また、市内に設置した地域活動支援センターの運用を開始したが、利用実績が伸び悩んでいるため、開催曜日や時間などを見直し、利用促進を行っていく。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により福祉サービスの利用量が減少したが、市としては福祉サービス利用が通常と同じように提供されるよう最大限努めることができた。令和3年度は、今年度策定した第3期半田市障がい者保健福祉計画に基づき、障がい者の福祉施策を着実に進めていく。					
部等長	2次評価(2年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
C	福祉施策の推進と感染症対策の両立が課題であり、ウィズコロナの時代に則した福祉の在り方を模索する中で、3密対策をした上での施設運営や、リモート開催による各種会議・研修を行ったが、各事業において設定した目標数値には及ばなかった。なお、今後は、新たに策定した半田市地域福祉計画や半田市障がい者保健福祉計画に基づき、それぞれ設定した目標の達成に向けて各種施策を展開し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるささえあいのまちづくりや、障がい者に対する理解促進・支援充実に取り組んでいくこと。					